

萩原義弘

ヤマに在りヤマに還る

巨幹残栄/SNOWY



巨幹残栄



SNOWY

相模原市民ギャラリーでは、フォトシティさがみはら写真新人奨励賞歴代受賞作品を紹介するシリーズ「PCS アーカイブス」を開催いたします。今回は第1回受賞者、萩原義弘氏の廃坑を撮った「巨幹残栄」と「SNOWY」を「ヤマに在りヤマに還る」と題して展示します。

会期

平成30年5月19日[土] 6月24日[日]

午前9時 午後8時

土・日は午後5時まで。

会場

相模原市民ギャラリー アートスポット
(相模原市中央区相模原 1-1-3 セレオ相模原 4階)

出品作家

萩原 義弘

昭和36(1961)年 群馬県高崎市生まれ。

日本大学芸術学部写真学科卒業。

毎日新聞社出版写真部を経てフリー。

現在、日本大学芸術学部写真学科非常勤講師。

受賞・展覧会・コレクション

受賞

平成13(2001)年 さがみはら写真新人奨励賞

平成22(2010)年 第26回写真の町東川賞特別作家賞

主な展覧会

昭和58(1983)年「沈黙の炭鉱・夕張は今」銀座ニコンサロン(東京)

平成11(1999)年「巨幹残栄」ヘルテン国際写真フェスティバル(ドイツ)

平成12(2000)年「巨幹残栄・東日本編」ユニカプラザ(東京)

平成13(2001)年「SNOWY」ライトワークス(横浜)

平成14(2002)年「巨幹残栄・SNOWY」新宿ニコンサロン(東京)

平成16(2004)年「炭鉱(ヤマ)へのまなざしー常磐炭田と美術ー」いわき市立美術館(いわき)

平成18(2006)年「SNOWY」パストレイズM/A丸ノ内(東京)

平成20(2008)年「SNOWY」ギャラリー冬青(東京)

平成21(2009)年「文化・資源としての炭鉱展」目黒区美術館(東京)

「SNOWY」Gallery TANTO TEMPO(神戸)

平成22(2010)年「第26回写真の町東川賞受賞作家展」文化ギャラリー(東川)

「時を越えて・夕張一滴の風景 畠山哲雄・萩原義弘」夕張市美術館(夕張)

平成23(2011)年「ヤマに在りヤマに還る」アルテピアッツァ美唄ギャラリー(美唄)

平成24(2012)年「You were here/You are here」マキマサルファインアーツ(東京)

「SNOWY」アンコール・フォトフェスティバル(カンボジア)

平成25(2013)年「炭鉱から 本橋成一×萩原義弘」Space&Café ポレポレ坐(東京)

「SNOWY」PHOTO OFF(パリ)

「黒い屋根・炭鉱住宅の記憶」ギャラリーコールピット(いわき)

平成26(2014)年「黒い屋根・炭鉱住宅の記憶」アートスペースモーター(東京)

コレクション

相模原市、日本大学芸術学部芸術資料館、夕張市石炭博物館、沖縄県立博物館・美術館、東川町

問合わせ先 相模原市民ギャラリー

電話 042-776-1262

担当 山田